

(6)精子や卵子を提供した第三者は生まれてくる子どもとどのような関係にあるべきだと思いますか (○はひとつ)。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 第三者は子どもと一切関係をもつべきでない | 57.2% (1447) |
| 2. 第三者は子どもについて知る権利がある | 9.3% (235) |
| 3. 第三者は子どもの親としての権利を持つ | 1.0% (25) |
| 4. そもそもこうした技術を認めるべきではない | 18.1% (460) |
| 5. わからない | 14.4% (364) |

Q27 最後にあなたご自身についておうかがいします。

(1)あなたの性別を教えてください。

- | | |
|------|--------------|
| 1. 男 | 45.4% (1167) |
| 2. 女 | 54.1% (1388) |
| 不明 | 0.5%(13) |

(2)あなたの年齢を教えてください。

____歳

- | | |
|-------|-------------|
| 20 歳代 | 16.4% (420) |
| 30 歳代 | 17.4% (448) |
| 40 歳代 | 25.5% (654) |
| 50 歳代 | 21.8% (559) |
| 60 歳代 | 18.2% (468) |
| 不明 | 0.7%(19) |

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代
男	185	172	305	279	222
女	235	276	349	280	244

不明 21

(3)結婚はされていますか

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 未婚 | 16.5% (423) |
| 2. 既婚 (結婚してからの年数____年) | 78.0% (2003) |
| 3. 事実婚 | 0.4% (11) |
| 4. 離別 | 2.7% (69) |
| 5. 死別 | 1.5 (40) |
| 不明 | 0.9% (22) |

(4)お子さんはいらっしゃいますか

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1.有り (人) | 76.2% (1958) |
| 2.無し (つぎのどれかひとつに○をつけてください) | 21.3% (546) |
| 2-1.子どもがほしい | 50.4% (275) |
| 2-2.子どもはほしくない | 4.0% (22) |
| 2-3.どちらでもかまわない | 35.2% (192) |
| 2-4.とくに考えていない | 10.4% (57) |
| 不明 | 2.5% (64) |

子どもの数

子どもの数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人
	16.8%	53.5%	25.8%	3.3%	0.5%	0.1%	0.1%
	(328)	(1044)	(503)	(64)	(9)	(1)	(1)

(5)あなたまたはあなたの配偶者が不妊治療を受けたことがありますか。つぎの表の各技術についてひとつ選んでください (○は1~7のうちひとつ)。

	排卵誘発剤の使用	人工授精	体外受精	顕微授精	その他
1.受けたことがない	(448)	(467)	(441)	(444)	(398)
1-1.受ける予定がある	1	1	1	1	1
1-2.受けたいと思っている	2	2	2	2	2
1-3.受けるかどうか迷っている	3	3	3	2	3
1-4.受けたいとは思わない	4	4	4	4	4
2.過去に受けたことがある	5 (43)	5 (17)	5 (6)	5 (1)	5 (22)
3.治療をして子どもが生まれた	6 (19)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (12)
4.現在治療を受けている	7 (10)	7 (2)	7 (1)	7 (1)	7 (3)
回答なし	(2048)	(2110)	(2118)	(2120)	(2133)

(8)あなたのお仕事は次のどれにあたりますか (○はひとつ)。

自営業主	1-1 医療従事者	20(0.8%)	1-2 法曹関係者	2(0.1%)
	1-3 その他	290(11.3%)		
勤め人 (役員を含む)	2-1 医療従事者	101(3.9%)	2-2 法曹関係者	5(0.2%)
	2-3 その他	1276(49.7%)		
その他	3-1 専業主婦	636(24.8%)	3-2 学生	57(2.2%)
	3-3 その他	249(9.7%)		
不明	102 (4.0%)			

(9)あなたの最終卒業学校を教えてください (○はひとつ)。

1.中学校	14.7% (377)
2.高校 (旧制中学)	42.3% (1085)
3.高専・専門学校	13.5% (348)
4.短大	10.1% (258)
5.大学・大学院	17.2% (442)
不明	2.3% (58)

(8)その他、ご意見がありましたら記載してください。

ご協力ありがとうございました。

II. 調査結果

(3) 患者

(3) 患者 (患者用ーピンク)

配付数 804 (全数患者にわたっているかは不明)

回収数 329

回収率 40.9%

(登録産婦人科医の回収率 (60.4%) から配付数が486 と推計され、回収率は67.7%となる)

Q1 以下のAとBそれぞれ対立する考え方のうち、あなたのお考えはどちらにより近いですか。(1)~(8)のそれぞれについて、1~4のいずれか、ひとつを選んでください(○は1~4のうちひとつ)。

A	Aに近い	どちらかといえばAに近い	どちらかといえばBに近い	Bに近い	B
(1)やはり「男は仕事、女は家庭」を中心に生活するのが良い	1 6.1%(20)	2 37.4%(123)	3 36.4(120)	4 20.1%(66)	仕事も家庭も男女、同じように行うのが良い
(2)女性は子どもを産んでこそ一人前だと思う	1 8.5%(28)	2 19.9%(65)	3 31.1%(102)	4 40.5%(133)	子どもを産まない生き方も女性の一人前の生き方だと思う
(3)結婚したら子どもを持つのがあたりまえだと思う	1 11.9%(39)	2 14.4%(47)	3 28.4%(93)	4 45.3%(148)	結婚しても、子どもを持つ、持たないは、個人の自由だと思う
(4)子どもがいない人生なんて考えられない	1 14.6%(48)	2 26.5%(87)	3 36.0%(118)	4 22.9%(75)	子どもがいなくても幸福な人生をおくれると思う
(5) 血は水より濃し(親子関係は血のつながりが大切)	1 13.1%(43)	2 38.6%(126)	3 37.6%(123)	4 10.7%(35)	産みの親より育ての親
(6)年をとって子や孫がいけないのは不幸なことだと思う	1 12.8%(42)	2 32.3%(106)	3 34.8%(114)	4 20.1%(66)	子や孫がいなくても幸福な老後はあると思う
(7)家を自分の代で途絶えさせてはいけないと思う	1 12.2%(40)	2 21.6%(71)	3 33.4(110)	4 32.6%(107)	家が自分の代で途絶えるとしても、それはしかたのないことと思う
(8)医療技術の進歩は、人間にとって幸福よりも不幸をもたらしていると思う。	1 0.6%(2)	2 7.4%(24)	3 44.6%(146)	4 47.4%(155)	人間生活をより幸福なものにするためには、できる限り医療技術を発展させるべきだと思う。

Q2 子どもがほしくてもできない夫婦に対して、妊娠、出産するための治療（不妊治療）がなされ、さまざまな技術（生殖補助医療技術）が開発されています。これらの技術をあなたは知っていますか。それぞれの技術につきひとつを選んでください（○は1～3のうちひとつ）。

生殖補助医療技術	知っている	聞いたことはある	知らない
(1)女性が特定の薬を使用することにより通常より多く排卵をする（排卵誘発剤の使用）	1 98.8% (325)	2 0.9% (3)	3 0.3% (1)
(2)夫の精子を妻の子宮内に医学的な方法で注入すること（夫の精子を用いた人工授精：AIH）	1 97.6% (321)	2 2.4% (8)	3 0.0% (0)
(3)夫以外の精子を妻の子宮内に医学的な方法で注入すること（第三者の精子を用いた人工授精：AID）	1 85.7% (282)	2 11.9% (39)	3 2.4% (8)
(4)妻の体から卵子を取り出し、それを体外で夫の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮内にもどすこと（夫婦間体外受精）	1 96.4% (317)	2 3.6% (12)	3 0.0% (0)
(5)妻の体から卵子を取り出し、それを体外で夫以外の男性の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮内にもどすこと（第三者の精子を用いた体外受精）	1 75.4% (248)	2 18.2% (60)	3 6.4% (21)
(6)妻以外の女性の体から卵子を取り出し、それを体外で夫の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮内にもどすこと（第三者の卵子を用いた体外受精）	1 73.6% (242)	2 20.3% (67)	3 6.1% (20)
(7)夫婦以外の男女から精子と卵子を体外で受精させ、その受精卵を妻の子宮内に入れること（第三者の受精卵を用いた胚移植）	1 45.6% (150)	2 21.9% (72)	3 32.5% (107)
(8)夫の精子を、妻とは別の女性の子宮内に医学的な方法で注入してその女性に妊娠・出産してもらうこと（代理母）	1 69.0% (227)	2 27.7% (91)	3 3.3% (11)
(9)夫婦の受精卵を妻とは別の女性に移植してその女性に妊娠・出産してもらうこと（借り腹）	1 62.0% (204)	2 29.5% (97)	3 8.5% (28)

「第三者の精子を用いた人工授精 (AID)」についてお聞きします。

—夫以外の男性の精子を妻の子宮内に医学的な方法で注入すること—

精子	卵子	出産
第三者	妻	妻

Q3 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか (○はひとつ)。

- | | | |
|-------------------|--------------|------|
| 1. 利用したい | 2.8% (9)→ | Q5 へ |
| 2. 配偶者が賛成したら利用したい | 21.3% (69)→ | Q5 へ |
| 3. 配偶者が望んでも利用しない | 75.9% (245)→ | Q4 へ |

Q4 Q3 で「3.配偶者が望んでも利用しない」と答えた方にかかいます。その理由は何ですか。いくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 自分 (男性の場合は妻) の健康に害がある可能性があるから | 3.7% (9) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 4.5% (11) |
| 3. 家族 (親子) 関係が不自然になると思うから | 76.3% (187) |
| 4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 18.8% (46) |
| 5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 19.2% (47) |
| 6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので | 15.9% (39) |
| 7. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 6.5% (16) |
| 8. 商業的に利用されると思うから | 7.8% (19) |
| 9. それ以外の理由 () | 37.6% (92) |
| 10. わからない | 1.6% (4) |

Q5 一般論としてお聞きします。このような技術を社会的に認めるべきだと思いますか (○はひとつ)。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 認めてよい | 12.9% (33) |
| 2. 条件付きで認めてよい | 67.2% (172) |
| 3. 認められない | 10.5% (27) |
| 4. わからない | 9.4% (24) |

「第三者の精子を用いた体外受精」についてお聞きします。

—妻の体から卵子を取り出し、それを体外で夫以外の男性の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮に
もどすこと—

精子	卵子	出産
第三者	妻	妻

Q6 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか (○はひとつ)。

- | | | |
|-------------------|--------------|------|
| 1. 利用したい | 3.1% (10)→ | Q8 へ |
| 3. 配偶者が賛成したら利用したい | 20.6% (66)→ | Q8 へ |
| 3. 配偶者が望んでも利用しない | 76.3% (245)→ | Q7 へ |

Q7 Q6で「3.配偶者が望んでも利用しない」と答えた方にかかっています。その理由は何ですか。いくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 自分 (男性の場合は妻) の健康に害がある可能性があるから | 3.7% (9) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 4.5% (11) |
| 3. 家族 (親子) 関係が不自然になると思うから | 74.3% (182) |
| 4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 19.6% (48) |
| 5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 20.0% (49) |
| 6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので | 15.1% (37) |
| 7. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 10.2% (25) |
| 8. 商業的に利用されると思うから | 8.6% (21) |
| 9. それ以外の理由 () | 36.7% (90) |
| 10. わからない | 1.2% (3) |

Q8 一般論としてお聞きします。このような技術を社会的に認めるべきだと思いますか (○はひとつ)。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 認めてよい | 12.5% (32) |
| 2. 条件付きで認めてよい | 67.1 (172) |
| 3. 認められない | 10.2 (26) |
| 4. わからない | 10.2 (26) |

「第三者の精子を用いた技術」についてお聞きします。

—夫以外の男性の精子を用いた人工授精 (AID) もしくは体外受精—

精子	卵子	出産
第三者	妻	妻

Q9 親子関係を考えた場合、夫以外の男性の精子を用いて生まれた子どもはどのようにすべきと考えますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 夫と妻の実子とする | 75.6% (248) |
| 2. 夫の養子、妻の実子とする | 6.4% (21) |
| 3. 夫と妻の養子とする | 1.8% (6) |
| 4. その他 () | 1.4 (5) |
| 5. わからない | 14.6% (48) |

「第三者の卵子を用いた体外受精」についてお聞きします。

—妻以外の女性の体から卵子を取り出し、それを体外で夫の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮に入れること—

精子	卵子	出産
夫	第三者	妻

Q10 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか (○はひとつ)。

- | | | |
|-------------------|--------------|-------|
| 1. 利用したい | 4.3% (14)→ | Q12 へ |
| 2. 配偶者が賛成したら利用したい | 22.9% (74)→ | Q12 へ |
| 3. 配偶者が望んでも利用しない | 72.8% (235)→ | Q11 へ |

Q11 Q10 で「3.配偶者が望んでも利用しない」と答えた方。その理由は何ですか。いくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 自分 (男性の場合は妻) の健康に害がある可能性があるから | 5.5% (13) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 7.7% (18) |
| 3. 卵子を取り出す女性の健康に害がある可能性があるから | 17.0% (40) |
| 4. 家族 (親子) 関係が不自然になると思うから | 72.8% (171) |
| 5. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 20.4% (48) |
| 6. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 20.4% (48) |
| 7. 生まれた子どもが離婚する時、近親婚の可能性があるので | 14.0% (33) |
| 8. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 11.1 (26) |
| 9. 商業的に利用されると思うから | 9.4% (22) |
| 10. それ以外の理由 () | 30.6% (72) |
| 11. わからない | 2.1% (5) |

Q12 一般論としてお聞きします。このような技術を社会的に認めるべきだと思いますか (○はひとつ)。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 認めてよい | 12.2% (32) |
| 2. 条件付きで認めてよい | 66.8% (175) |
| 3. 認められない | 9.5% (25) |
| 4. わからない | 11.5% (30) |

Q13 親子関係を考えた場合、妻以外の女性の卵子を用いて生まれた子どもはどのようにすべきと考えますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 夫と妻の実子とする | 72.9% (234) |
| 2. 夫の実子、妻の養子とする | 5.9% (19) |
| 3. 夫と妻の養子とする | 3.1% (10) |
| 4. その他 () | 1.6% (5) |
| 5. わからない | 16.3% (53) |

「代理母」についてお聞きします。

—夫の精子を妻以外の女性の子宮に医学的な方法で注入してその女性に妊娠・出産してもらう—

精子	卵子	出産
夫	第三者	第三者

Q18 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか (○はひとつ)。

- | | | |
|-------------------|--------------|-------|
| 1. 利用したい | 1.5% (5)→ | Q20 へ |
| 2. 配偶者が賛成したら利用したい | 13.8% (45)→ | Q20 へ |
| 3. 配偶者が望んでも利用しない | 84.7% (277)→ | Q19 へ |

Q19 Q18 で「3.配偶者が望んでも利用しない」と答えた方。その理由は何ですか。いくつでも選んでください (○いくつでも)。

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 4.3% (12) |
| 2. 代理母となる女性の健康に害がある可能性があるから | 15.2% (42) |
| 3. 家族 (親子) 関係が不自然になると思うから | 70.8% (196) |
| 4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 31.8% (88) |
| 5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 18.1% (50) |
| 6. 生まれた子どもが離婚する時、近親婚の可能性があるので | 9.7% (27) |
| 7. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 9.4% (26) |
| 8. 商業的に利用されると思うから | 12.2% (34) |
| 9. それ以外の理由 () | 28.2% (78) |
| 10. わからない | 3.2% (9) |

Q20 一般論としてお聞きします。このような技術を社会的に認めるべきだと思いますか (○はひとつ)。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 認めてよい | 7.5% (19) |
| 2. 条件付きで認めてよい | 46.6% (118) |
| 3. 認められない | 25.7% (65) |
| 4. わからない | 20.2% (51) |

Q21 親子関係を考えた場合、このような技術によって生まれた子どもをどのようにすべきと考えますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 依頼者夫婦の実子とする | 51.9% (165) |
| 2. 依頼者の夫の実子、依頼者の妻の養子 (出産した女性の実子) とする | 7.5% (24) |
| 3. 出産をした女性が婚姻している場合には、その夫婦の実子とする | 3.5% (11) |
| 4. わからない | 37.1% (118) |

Q26 以下のような「夫婦以外の第三者が妊娠や出産にかかわる技術」についてお聞きします。

	精子	卵子	出産
第三者の精子を用いた人工授精 (AID)	第三者	妻	妻
第三者の精子を用いた体外受精	第三者	妻	妻
第三者の卵子を用いた体外受精	夫	第三者	妻
第三者の受精卵を用いた胚移植	第三者	第三者	妻
代理母	夫	第三者	第三者
借り腹	夫	妻	第三者

(1)このような技術は患者がどのような場合に実施されるべきでしょうか。ひとつを選んでください (○はひとつ)。

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 希望すれば誰にでも実施してよい | 4.3% (14) |
| 2. 効果的な方法がない者に限定すべき | 70.1% (230) |
| 3. 各技術により異なり、どちらともいえない | 14.3% (47) |
| 4. そもそもこうした技術は認めるべきでない | 7.6% (25) |
| 5. わからない | 3.7% (12) |

(2)このような技術を利用する対象者としては誰が適当でしょうか。いくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. 婚姻届を提出した夫婦 | 80.8% (266) |
| 2. 婚姻届は提出していないが事実上夫婦関係にあるカップル | 12.5% (41) |
| 3. 独身者 | 4.0% (13) |
| 4. 自然に妊娠する可能性のない高齢者夫婦 | 50.8% (167) |
| 5. そもそもこうした技術は認めるべきでない | 7.9% (26) |
| 6. その他 () | 7.3% (24) |

(3)夫婦はこうした第三者についてどれくらい知っているべきだと思いますか (○はひとつ)。

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. よく知っているべき | 18.3% (60) |
| 2. ある程度知っているべき | 31.4% (103) |
| 3. まったく知らないでいるべき | 30.5% (100) |
| 4. そもそもこうした技術は認めるべきでない | 7.6% (25) |
| 5. わからない | 12.2% (40) |

(4)夫婦とこうした第三者の関係はどうあるべきだと思いますか (○はひとつ)。

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 血縁関係である場合に限定すべき | 9.4% (31) |
| 2. 血縁関係であってはならない | 16.1% (53) |
| 3. 血縁関係であるべきかどうかにとらわれる必要はない | 42.3 (139) |
| 4. そもそもこうした技術は認めるべきでない | 8.2% (27) |
| 5. わからない | 24.0% (79) |

(5)生まれた子どもがこの第三者を知る権利についてどのようにすべきだと思いますか (○はひとつ)。

- | | |
|--|-------------|
| 1. いつでも知る権利がある。 | 19.8% (65) |
| 2. 成人になったら知る権利がある | 14.9% (49) |
| 3. 婚姻年齢 (男 18 歳以上、女 16 歳以上) になったら知る権利がある | 9.1% (30) |
| 4. 知らないでいるべきである | 35.8% (118) |
| 3. そもそもこうした技術を認めるべきではない | 6.7% (22) |
| 4. わからない | 13.7% (45) |

(6)精子や卵子を提供した第三者は生まれてくる子どもとどのような関係にあるべきだと思いますか (○はひとつ)。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 第三者は子どもと一切関係をもつべきでない | 71.4% (235) |
| 2. 第三者は子どもについて知る権利がある | 9.1% (30) |
| 3. 第三者は子どもの親としての権利を持つ | 0.4% (1) |
| 4. そもそもこうした技術を認めるべきではない | 8.5% (28) |
| 5. わからない | 10.6% (35) |

Q27 最後にあなたご自身についておうかがいします。

(1)あなたの性別を教えてください。

- | | |
|------|-------------|
| 1. 男 | 4.3% (14) |
| 2. 女 | 95.7% (314) |
| 不明 | 1 |

(2)あなたの年齢を教えてください。

____歳

- | | |
|------|-------------|
| 20歳代 | 20.6% (68) |
| 30歳代 | 63.8% (210) |
| 40歳代 | 12.8% (42) |
| 50歳代 | 1.5% (5) |
| 60歳代 | 0.3% (1) |
| 不明 | 0.9% (3) |

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
男	0	6	4	3	0
女	68	204	38	2	1

不明 3

(3)結婚はされていますか

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 未婚 | 0.3% (1) |
| 2. 既婚 (結婚してからの年数____年) | 98.8% (324) |
| 3. 事実婚 | 0.9% (3) |
| 4. 離別 | 0.0% (0) |
| 5. 死別 | 0.0% (0) |

(4)お子さんはいらっしゃいますか

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 有り (人) | 17.0% (56) |
| 2. 無し (つぎのどれかひとつに○をつけてください) | 82.1% (270) |
| 不明 | 0.9% (3) |

子どもの数

子どもの数	1人	2人	3人
	80.4%	10.74%	8.9%

(5)あなたまたはあなたの配偶者はどんな不妊治療を何回受けたことがありますか。(○は1~6のうちいくつでも)。

	過去に受けた	現在治療中
1.排卵誘発剤の使用	12.7% (78)	34.3% (113)
2.夫の精子を用いた人工授精(AIH)	30.4% (100) (5回)	31.9% (105) (4回)
3.夫以外の男性の精子を用いた人工授精(AID)	0.9% (3) (3回)	1.2% (4) (4.5回)
4.体外受精	16.4% (54) (2回)	24.0% (79) (2回)
5.顕微授精	5.2% (17) (4回)	12.8% (42) (2回)
6.その他(具体的に)	5.5% (18)	6.7%(22)

注：回数は中央値

(6)あなたまたはあなたの配偶者はどうして不妊治療を受けようと思ったのですか(○はいくつでも)。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. はじめから自分の強い希望で | 78.7% (259) |
| 2. 配偶者にすすめられた | 11.9% (39) |
| 3. 親にすすめられた | 8.8% (29) |
| 4. 親戚にすすめられた | 0.6% (2) |
| 5. 友人にすすめられた | 7.3% (24) |
| 6. 医師にすすめられた | 11.6% (38) |
| 7. その他 () | 13.1% (43) |

(7)あなたまたはあなたの配偶者が受けた不妊治療の費用はいくらかかりましたか。

(2~5.は最近受けた施設での1回分についてお答えください)

	中央値	最低値	最高値
1.これまで受けた総額	500千円	4.3千円	10000千円
2.夫の精子を用いた人工授精1回につき	10.5千円	1.0千円	500千円
3.夫以外の男性の精子を用いた人工授精1回につき	38千円	30千円	500千円
4.体外受精1回につき(外来での注射、入院費用を含む)	300千円	37千円	800千円
4-2 入院 無 30.8% (37) 有 69.2% (118)			
5.顕微授精1回につき(外来での注射、入院費用を含む)	400千円	84.9千円	650千円
5-2 入院 無 47.3% (26) 有 52.7%(29)			

(8)あなたのお仕事は次のどれにあたりますか(○はひとつ)。

自営業主	1-1 医療従事者	6(1.8%)	1-2 法曹関係者	0(0.0%)
	1-3 その他	11(3.3%)		
	勤め人(役員を含む)	2-1 医療従事者	57(17.3%)	2-2 法曹関係者
	2-3 その他	62(18.8%)		
その他	3-1 専業主婦	160(48.6%)	3-2 学生	1(0.3%)
	3-3 その他	24(7.3%)		
	不明	6(1.8%)		

(9)あなたの最終卒業学校を教えてください(○はひとつ)。

1.中学校	1.5% (5)
2.高校(旧制中学)	28.4% (93)
3.高専・専門学校	18.5% (61)
4.短大	26.7% (88)
5.大学・大学院	24.0% (79)
不明	0.9% (3)

(8)その他、ご意見がありましたら記載してください。

ご協力ありがとうございました。

II. 調査結果

(4) 登録産婦人科医

(4) 登録産婦人科医（登録産婦人科医用—パープル）

配布数 402（郵送法）

回収数 243

回収率 60.4%

単純集計 百分率（実数）

重複回答の場合選択肢の百分率の合計は100にはならない。

- 1 性別 ; 1. 男 94.2% (228)
2. 女 5.8% (14)
- 2 年齢 ; ____歳
30歳代 18.7% (45)
40歳代 48.5% (117)
50歳代 23.7% (57)
60歳代 7.9% (19)
70歳代 1.2% (3)
- 3 婚姻の有無 ; 1. 未婚 2. 既婚（結婚してからの年数__年） 3. 事実婚 4. 離婚 5. 死別
3.3% 94.2% 0.8% 0.8% 0.8%
(8) (227) (2) (2) (2)
- 4 子どもの数 ; 1. 有り（人） 89.6% (216)
1人 11.6% (25)
2人 48.4% (104)
3人 34.0% (73)
4人 4.7% (10)
5人 1.4% (3)
2. 無し 10.4% (25)
2-1. 子どもがほしい 34.8% (8)
2-2. 子どもはほしくない 0.0% (0)
2-3. どちらでもかまわない 17.4% (4)
2-4. 特に考えていない 47.8% (11)
- 5 あなたの勤務先はどちらですか。
1. 一般診療所 17.0% (41)
2. 不妊専門クリニック 12.4% (30)
3. 100床未満の病院 8.7% (21)
4. 100～300床未満の病院 9.5% (23)
5. 300床以上の病院 27.4% (66)
6. 大学付属病院 24.9% (60)
- 6 貴院で可能な管理はどれですか。いくつでも選んでください（○はいくつでも）。
1. 妊婦管理 96.7%(235)
2. 分娩管理 84.4%(205)
3. 新生児管理 79.8%(194)
4. NICU管理 37.9%(92)

7 貴院では次の医療を行っていますか。次のうち該当するものに○をつけてください。

1. 人工授精 99.6% (242)		
1-1. AIH のみ	91.7%	(222)
1-2. AIH と AID の両方	7.9%	(19)
2. 体外受精 93.8% (228)		
2-1. 夫婦間のみ	98.7%	(225)
2-2. 非夫婦間も含めて	0.9%	(2)
3. 顕微授精 49.8% (121)		
3-1. 射出精子のみを用いている	60.3%	(73)
3-2. 精巣上体精子や精巣内精子も用いている	62.0%	(75)
3-3. 円形精子細胞も用いている	2.5%	(3)
4. 1～3 の医療を全く行っていない 0.4% (1)		
4-1. 当面、行う予定はない	100.0%	(1)
4-2. 将来的には行う予定	0.0%	(0)
4-3. 行うかどうかは未定	0.0%	(0)

8 貴院は日本産婦人科学会に体外受精の実施登録を行っていますか。

1. 登録している	98.3%	(238)
2. 登録していない	1.7%	(4)

(生殖補助医療技術の是非)

Q1 人の生殖に人工的な介入（人工授精や体外受精、顕微授精など）を加えることについてどう考えますか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- | | | |
|---------------|-------|-------|
| 1. 認めてよい | 47.9% | (114) |
| 2. 条件付きで認めてよい | 52.1% | (124) |
| 3. 認められない | 0.0% | (0) |
| 4. わからない | 0.0% | (0) |

(技術の適応)

Q2 人工授精（精子を子宮内に注入すること。AIH：夫の精子を使用、AID：夫以外の精子を使用）、体外受精（女性のからだから卵子を採取し、その卵子を精子と体外で受精させ、その受精卵を子宮内に移植すること。）は患者がどのような場合に実施されるべきでしょうか。次の表の各々の技術（AIH、AID、体外受精）について、ひとつ選んでください（1～5のうち○はひとつ）。

	AIH	AID	体外受精
1. 希望すれば誰にでも実施してよい	1 45.5%(107)	1 3.5% (8)	1 18.4%(43)
2. 他に効果的な方法がない者に限定すべき	2 53.6%(126)	2 64.1%(148)	2 79.9%(187)
3. どちらともいえない	3 0.9% (2)	3 10.0%(23)	3 1.3% (3)
4. そもそもこうした技術は認めるべきではない	4 0.0% (0)	4 19.0%(44)	4 0.4% (1)
5. わからない	5 0.0% (0)	5 3.5% (8)	5 0.0% (0)

(対象者)

Q3 人工授精（AIH、AID）、体外受精の対象者として適当なのは誰でしょうか。次の表の各々の技術（AIH、AID、体外受精）について適当なものをいくつでも選んでください（1～6のうち○はいくつでも）。

	AIH	AID	体外受精
1. 婚姻届を提出した夫婦	1 86.0%(209)	1 63.8%(155)	1 86.4%(210)
2. 婚姻届は提出していないが事実上夫婦関係にあるカップル	2 51.0%(124)	2 23.9%(58)	2 45.3%(110)
3. 独身者		3 3.3% (8)	3 1.6% (4)
4. 自然に妊娠する可能性のない高齢者夫婦	4 33.3%(81)	4 15.2%(37)	4 33.7%(82)
5. そもそもこうした技術は認めるべきではない	5 0.0% (0)	5 18.1%(44)	5 0.4% (1)
6. その他（同性同士等）	6 0.8% (2)	6 2.9% (7)	6 1.2% (3)

(第三者の精子を用いた人工授精：AID)

精子	卵子	出産
第三者	妻	妻

Q4 夫以外（第三者）の男性から精子の提供を受けて人工授精を行い妊娠、出産することをどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- | | | | |
|---------------|-------|-------|--------|
| 1. 認めてよい | 10.7% | (26) | → Q5 へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 63.0% | (153) | → Q5 へ |
| 3. 認められない | 22.2% | (54) | → Q6 へ |
| 4. わからない | 4.1% | (10) | → Q7 へ |

Q5 Q4 で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にかかいます。夫がどのような場合に行うべきでしょうか。次のうちから選んでください（○はいくつでも）。

- | | | | |
|-----------------|-------|-------|----------|
| 1. 夫が無精子症の場合 | 91.0% | (163) | } → Q7 へ |
| 2. 夫の精子に異常がある場合 | 49.2% | (88) | |
| 3. それ以外の場合（ ） | 11.2% | (20) | |

Q6 Q4 で「3.認められない」と答えた方にかかいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから | 5.6% | (3) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 1.9% | (1) |
| 3. 家族（親子）関係が不自然になると思うから | 74.1% | (40) |
| 4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 70.4% | (38) |
| 5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 14.9% | (8) |
| 6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので | 59.3% | (32) |
| 7. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 0.0% | (0) |
| 8. 商業的に利用されると思うから | 54.0% | (29) |
| 9. それ以外の理由（ ） | 9.3% | (5) |
| 10. わからない | 0.0% | (0) |

(第三者の精子を用いた体外受精)

精子	卵子	出産
第三者	妻	妻

Q7 夫以外（第三者）の男性から精子の提供を受けて体外受精を行い妊娠、出産することをどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- 1. 認めてよい 9.1% (22) → Q9 へ
- 2. 条件付きで認めてよい 56.6% (137) → Q9 へ
- 3. 認められない 29.8% (72) → Q8 へ
- 4. わからない 4.5% (11) ↗ Q4で「1.認めてよい 2.条件付きで認める」と答えた方→Q10 へ
↘ Q4で「3.認められない 4.わからない」と答えた方→ Q15 へ

Q8 Q7で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

- 1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから 8.3% (6)
- 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから 5.6% (4)
- 3. 家族（親子）関係が不自然になると思うから 72.2% (52)
- 4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから 68.1% (49)
- 5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから 12.5% (9)
- 6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので 47.2% (34)
- 7. 時間的、金銭的に負担が大きいから 2.8% (2)
- 8. 商業的に利用されると思うから 54.2% (39)
- 9. それ以外の理由（ ） 15.3% (11)
- 10. わからない 0.0% (0)

*Q4で「1.認めてよい、2.条件付きで認めてよい」と答えた方 → Q10 へ
 Q4で「3.認められない、4.わからない」と答えた方 → Q15 へ

Q9 Q7で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にうかがいます。夫がどのような場合に行うべきでしょうか。次のうちから選んでください（○はいくつでも）。

- 1. 夫が無精子症の場合 84.9% (135)
- 2. 夫の精子に異常がある場合 50.9% (81)
- 3. それ以外の場合（ ） 13.2% (21)

Q4またはQ7で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方は **Q10**～**Q14** にお答え下さい。

Q10 精子の提供者にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- 1. 夫の兄弟等の近親者を除く 15.2% (25)
- 2. 夫の兄弟等の近親者に限定する 4.8% (8)
- 3. 特に限定する必要はない 80.0% (132)

Q11 精子の提供者は提供を依頼した夫婦に対して匿名にすべきですか

- 1. 匿名にすべき 69.6%(117)
- 2. 匿名にすべきでない 9.5%(16)
- 3. どちらでもよい 20.8%(35)

Q12 一人の精子提供者から出生する子どもの数を制限すべきですか。

- 1. 制限すべき 72.2%(122)
- 2. 制限しなくてよい 27.8%(47)

Q13 精子提供者はすでに健康な子どもがいる者に限定すべきですか。

- 1. 限定すべき 26.9%(45)
- 2. 限定しなくてよい 73.1%(122)

Q14 精子提供者は自分の妻の同意をとるべきですか。

- 1. とるべきである 72.0%(121)
- 2. とらなくてよい 28.0%(47)

Q15 親子関係を考えて場合、夫以外（第三者）の男性の精子を用いて AID または体外受精を行い、生まれた子どもをどのようにすべきでしょうか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- 1. 夫と妻の実子とする 76.0%(165)
- 2. 夫の養子、妻の実子とする 10.1%(22)
- 3. 夫と妻の養子とする 1.4%(3)
- 4. その他 1.8%(4)
- 5. わからない 10.6%(23)